

# 令和2年度おだわら市民交流センターUMECO事業について

令和2年7月29日  
第9回会議  
資料 2-1

## <参考>施設の状況

- ・ 2月20日利用分から利用自粛のお願い及びキャンセルに係る利用料金の全額返還を行った。
- ・ 3月3日から会議室及び活動エリアの新規予約を中止した。
- ・ 3月27日から定員の制限を設ける等行った。
- ・ 4月9日から全館休館とした（職員は9時から17時15分まで常駐）。
- ・ 6月8日から会議室及び活動エリアの予約を再開した。
- ・ 6月15日から会議室及び活動エリアの利用を再開した（定員の制限等は継続するとともに、館内の通り抜けは不可としている）。

## ①拠点機能

No	事業名	目的	実施予定内容等（年度当初）	実施状況
1	UMECO 企画展	市民活動団体が実施している社会貢献活動の内容等を多くの市民に紹介し、団体と市民がつながるきっかけを作る。	市民活動団体や関係所管部署からの展示企画の要望等を反映した形で、各団体の特徴を生かしながらジャンルごとの展示をする。また、市の行事や季節感のある行事を取り入れ、一般市民が興味を示すような企画展を開催する。 <u>常時アンケート調査を実施。展示希望団体の募集を常時している。</u>	4月1日から6月14日までの展示を中止した。6月15日から展示を再開したが、観覧者が参加する企画（七夕の短冊をその場で書いて吊るす等）は、中止した。
2	団体登録制度	登録団体は少なくとも1年に1度は活動実績をベースに次年度の活動計画を立案し登録の更新をする。	UMECOに登録している市民活動団体に、年度更新の通知文を送付する。団体から必要書類の提出を受けて確認した上で登録団体データベースを更新する。それに併せてホームページの団体内容も更新する。 又、令和元年度から市民への閲覧用としてUMECO館内に登録団体の紹介冊子を設置している。 <u>更新手続きはできるだけ多くの団体が登録できる様、メール・郵送も認める。ただし登録団体の活動内容をきちんと把握するために活動内容の調査を行う予定。</u>	登録更新の書類は、なるべく郵送やメール、FAXにより提出するよう団体に促した。最終的に7月20日現在409団体中374団体が更新の手続きを行った。 継続団体数 368団体 今年度新規登録団体数 6団体 合計 374団体
	活動エリアの 管理	市民活動団体が、無料で使用できる活動の場を提供する。	登録団体が、3か月前から予約できる。なお、当日空いている場合は交流エリアとして誰でも利用できる。	6月15日から再開したが、当面の間はA～Cのみ利用可能とし、座席数を減少させるとともに、当日空いていても交流エリアとしては使えないこととした。

## ②相談・支援機能

No	事業名	目的	実施予定内容等（年度当初）	実施状況
3	相談業務	市民活動・NPO関係・その他一般市民の市民活動に関する相談を受ける。相談内容に応じ、適切な対応をすることにより、相談者の市民活動を活発化させる。	相談業務の充実を図るために、全ての相談をスタッフ全員が受け付け対応できるようにする。通常相談は常時受付、予約相談は月1回第1土曜日に実施する。 <u>職員の研修を重ねる。UMECOだより・つながるに相談業務窓口のPRを掲載する。</u>	施設休館時も職員は常駐し、電話等による相談対応を行った。 4月：3件 5月：4件 6月：4件
4	市民活動団体への資金面への支援	市民活動団体が行う事業に対し、財政支援を行うことにより、市民活動の活性化を図り、市民の創意を活かした市民主体のまちづくりを進めること。	小田原市市民活動応援補助金の募集等を行うことに加え、市民等からの寄付金を財源とした市民活動団体への支援を行う。	小田原市市民活動応援補助金については、市との打合せを行い、事務分担の見直し、次回の募集期間や報告会の変更等を提案した。なお、今年度実施事業への視察は、今後調整し実施する。 UMECO市民活動応援補助金については、前年度から224,180円を繰り越している。

## ③協働支援機能

No	事業名	目的	実施予定内容等（年度当初）	実施状況
5	市民活動団体と企業との協働事業	市民活動団体が企業とネットワークを組むことにより、市民活動団体の活動場所や市民活動の意義の周知につなげ・又団体の資質の向上にもつなげる。企業のCSRと活動団体の協働事業を行うことにより更なる市民活動の推進発展を図る。	企業とのネットワークなので、企業と相談の上winwinの中で活動する。シティーモールで年3回のフェスティバルを開催する。又指定管理期間の5年間で新たな企業との協働事業を開拓する。今年度は実施可能な事業形態などを検討し施行する。	計画どおり、8月10日（月・祝）にシティーモールにおいてサマーフェスティバルを開催する。なお、参加団体については、中止となった昨年度のスプリングフェスティバルに参加予定だった団体を中心に選定した。また、当日の観覧席は例年の3分の1以下の20席にする予定。企業と綿密な打ち合わせをし、不備が無い様実施する予定。状況により中止の可能性もある。7月30日に団体と企業との最終打合せをする予定。
6	地域活動団体ネットワーク形成事業	地域活動団体と市民活動団体との連携を通じて地域の活性化や課題解決へと結びつける。	今年度も令和元年度に続き地域の課題解決のために、行政や地域のまちづくり委員会との情報交換を行い、中間支援組織として、UMECOの登録団体が地域課題の解決を支援する対策を企画し実施する。又従来から実施している地域活動団体等からの依頼に応じ、適した市民活動団体を選定し、紹介する。両者の交流を通してお互いの活動内容を理解し、今後の発展的な活動に繋げるために <u>市民活動登録団体名簿の内容と表記の改善をして見やすい冊子を作る。名簿の配布先は課題解決をする関わりが強い所を含め配布先を決定する。（例・まちづくり委員会実務担当者・自治会長・民生委員・公民館 学校他）</u>	地域コミュニティ組織等の活動も新型コロナウイルスの関係で活動が縮小されたため、地域活動団体ネットワークに登録された団体の活動が分かる冊子の作成に注力した。9月上旬に完成予定。冊子の名前は親しみやすく「Hello!UMECO」にする。また、ホームページ上の団体紹介や、動画を活用できるよう、ホームページ改修に着手している。又関係団体対象に「初歩からの動画作成講座」連続2回講座を開催する。（9月15日・16日）

No	事業名	目的	実施予定内容等（年度当初）	実施状況
7	協働事業（うきうき交流サロン）	市民活動の担い手となる高齢者の社会参加を増やすとともに、UMECOと同様にボランティアを支援している小田原市社会福祉協会・地域包括支援センターしろやまとの連携を強化する。またできる範囲内で学校・企業・市民活動団体に働き掛け新たな協働事業を展開する。	協働開催イベントは継続し、今後3事業体の実務者協議を行って課題解決への企画案を提示する。今後いろいろな面で市民活動が発展的につながるように活動を展開する。	6月開催分（6月19日城下町スポーツクラブによるボッチャー）は中止とした。次回は令和3年2月頃に開催予定。
8	県協働事業 企業・NPO・学校パートナーシップ	多様な主体の出会いときっかけづくりの場を作る。	「企業・NPO・学校のつながりin小田原」の事業は県との協働事業で今年度は3回目になる。年々企業と市民活動団体とのつながりが増加し成果が上がってきた。 <u>そこで協働した事例の把握しその後のフォローアップにつなげる。</u>	11月3日（祝）に開催予定。 《検討中の内容》 ・特別講演 ・事例発表 ・参加者同士の交流

#### ④学習・体験機能

No	事業名	目的	実施予定内容等（年度当初）	実施状況
9	市民活動入門講座	超高齢化社会の中、若い人も含めシルバー世代の方も生きがいを持ち、生き活きとした社会生活が出来るよう市民活動へのきっかけ作りをする。	市民活動の基本的な内容や、なぜ市民活動が楽しいのかを知って頂けるような講座を実施。市民活動を知らない方を対象に、市民活動に興味を持ち、活動をはじめてもらえるようなきっかけを作るための講座を開催する。	9月12日（土）13:30～15:30に開催予定。 テーマ:「そうだ。今こそ市民力だ!!」 内容: ・講話「未来の自分がここにある 充実した人生を」 ・市民活動団体の紹介 ・定員:20人 ・費用:無料
10	NPOマネジメント講座	市民活動団体がNPO法人を目指し活動をして頂く手段として講座を企画。NPO法人に関する知識が得られるような講座を開催する。	NPO法人に必要な総合的な内容についての講座を開催する。 <u>NPO法人の団体間の連携を深めるため、団体の情報交換、NPO法人として今後どのような活動をしたいか課題を出し合う、課題解決の手法を考えるなど積極的に行う。</u>	2月頃に開催予定。
11	夏休みボランティア体験学習	青少年の時期には、学校内外を通じてボランティア活動の場や機会を充実させることが大切である。社会にどのような貢献ができるかという「ボランティア精神の芽生え」のきっかけ作りを行う。	ボランティアの受け入れを登録団体に募集し、受入れ団体と・児童・生徒との橋渡しをする。できるだけ多くの市民活動団体の活動を体験させるために団体の積極的参加を得る。また、学生と関係ある学校側の協力を得るよう働き掛ける。	学校の状況を踏まえ、事業は中止とした。体験の希望があれば、個別に対応する。

No	事業名	目的	実施予定内容等（年度当初）	実施状況
12	学生支援ティ ーサロン	ティーサロンを通して学生の企画力や実施力を 養う。 又UMECOからの様々な情報を提供し、市 民活動を知る機会を提供する。  ※令和元年度から高校生に限定せず学生ボラ ンティア支援とする。	学生が主体となって企画立案し運営する。又企画 の中で市民が興味を示す工夫や四季を通じた行事 色を生かし、誰もが一緒に季節感を楽しみながら お茶を飲み情報交換できる雰囲気を作りおもてな し等もする。 UMECOは活動に参加している学生の意志を尊 重し、学生自らが企画運営する事業のサポートな どを行い、自立に向けた活動支援をする。この活 動を実施しているグループを、学生ボランティア グループ「S.P.A.C.E」という。令和元年度 からこのような手法で実施した。学生たちの自立 に向け着実に効果を上げているので、今後も継続 する。 <u>他団体からの活動要請があれば協働で実施し学生 の活動機会を拡大する。</u>	6月までの活動は休止とした。7月は11日に定例 会を実施した。8月は交流サロンが中止になった 為定例会と併せて学生の交流会を実施する予定。 以降の予定は、学生の意見を聞きながら自主事業 を実施する予定。
13	市民活動出張 講座（ボラン ティア出前講 座）	中高大学生に対し、市民活動とは何かを知っ てもらうことにより、市民活動を実践するき っかけを作る。	市内の大学や高校等へ積極的に働きかけ、市民活 動について広く周知し啓発するために講座を開催 する。 <u>近隣の学校に協力を働きかけ出張講座回数 増加を図る。</u>	学校の状況を踏まえ、夏休みボランティア体験学 習と併せて実施を中止した。要望があれば個別に 対応予定。
14	男女共同参画 講演会	男女共同参画に関する講師を招き、男女共同 参画についての理解を深めると同時に市民活 動へのきっかけを作る。	男女共同参画週間に講演会を実施する。	6月に開催予定であったが、共催である小田原市 人権・男女共同参画課と相談し、中止とした。
15	女性のエンパ ワーメント講 座	女性の自立をめざし、特に就労に視点を当て 経済的に自立を支援すると同時に市民活動へ のきっかけを作る。	女性の働き方にもいろいろあるので、仕事・結婚・ 子育て・介護を含め自立に向けた人生のタイムス ケジュールの考え方の講演会を開催する。	8月に開催予定であったが、中止とした。 今後は未定。
16	インターンシ ップ受入	若い力を育てるためインターンシップの受入 れを行い、多くの登録団体とつながる機会を 作る。	インターンシップを希望する学生に対し、充実し た体験学習プログラムを企画し要望や希望を受け 入れ効果的な実施体験の場を提供する。	要望があれば個別に対応予定。

## ⑤交流・コーディネート機能

No	事業名	目的	実施予定内容等（年度当初）	実施状況
17	UMECO祭 り	多くの市民にUMECOや市民活動団体を周 知し、市民活動参加へのきっかけを作るとと もに、参加団体相互の交流を図る。又、市民 活動に興味や関心を持った市民がともに市民 活動ができるようにする。	登録団体や利用者が一堂に会し、活動発表や作品 展示など様々な企画（活動紹介・物品販売・パフ ォーマンス）を行い、自分たちの活動内容を多く の市民に周知。 <u>アンケートの積極的な回収及び結 果を踏まえ改善を図る。</u>	例年どおりとすることは不可能であることから、 実行委員会において以下の内容での開催を検討し ている。 ・ホームページ上での活動紹介動画の配信等 ・UMECO館内での3密を避けた展示等 詳細は未定

No	事業名	目的	実施予定内容等（年度当初）	実施状況
18	声の万華鏡	文学という大きなくくりの中から、西湘地域の民話や、文学的作品の紹介を朗読を通して多くの方に伝える。出演者は老若男女を問わず希望者には幅広く参加して頂く。特に高校生の演劇部と共催で実施する。	文学を愛する多くの市民が自主的に運営委員会を立ち上げ既に基礎が出来上がり実施している。今後も運営委員会を主体に参加者を募集し内容の調整をする。今年度も文学を中心とした団体さんと高校生とコラボして第5回声の万華鏡を6月28日（日）に実施する。今後他の高校生にも協力を得るために声かけし協力を得る。 <u>2年度はできるだけ何時でも多くの市民が文学や声に触れることが出来るよう、ティーサロン等で紙芝居や朗読などを披露する機会を得られるよう働きかける。</u>	6月に開催予定であったが、2月に延期とした。内容については、実行委員会において以下を検討している。 ・過去の実績を企画展で展示 ・発表団体の勉強会として観客なしで朗読発表
19	わくわく交流会	登録団体同士の交流会により、他団体の活動内容を知り、新たな発展的な活動の展開が行われ、市民活動の推進を図る。	分野別や課題別で団体が集まる市民活動団体間の交流事業。情報交換やワークショップ等を行う。今後も交流後のフォローを行い充実した交流会にする。 <u>昨年実施した子育てのフォローアップを実施。今年度は、国際協力の活動・環境の保全を実施予定。昨年防災関係の交流会を実施し団体との関係が深まった中、今年はその発展的な事業として防災に関する事業を開催する予定。</u>	6月開催分は中止とした。今後、状況を見ながら再開する。 ・防災関係の交流会 ・子供の健全育成を実施する予定
20	新春交流会	市民活動団体と連合自治会長が一堂に会し交流を図ることで、市民活動団体同士及び市民活動団体と地域活動団体とのつながりを生み出すキッカケをつくる。	普段団体同士の交流が少ない中で、机上論で話し合うのとは違い、飲食しながらお互い心穏やかにゆとりの中で会話のできる機会を持つ。1部はできるだけ団体の活動を知っていただけるような内容を企画し、2部は参加者同士のコミュニケーションが図れるよう工夫する。 <u>アンケートの積極的な回収と活用を図る。アンケート結果を踏まえ改善できるところは改善し市民活動団体を中心に自治会とのつながりを深める。</u>	飲食を伴う等、現状では開催が難しいことから3密にならないよう工夫し、何らかの交流をやる予定。例えばメールで書いた年賀状を募集しZOOMで読んでいただき新春のご挨拶をいただきながら交流をする等。
21	市民交流広場	市民活動団体をはじめ、広く一般市民の方や外国籍の方を対象に、楽しくソフトで自由な雰囲気の中での交流会。 また、UMECOからの様々な情報を提供することで、市民活動の裾野拡大を目指す。	小田原市の一大イベントである北条五代祭りは一般市民や観光客も含め多くの方が小田原に来訪する。その機を逃さず季節に合った飲食やミニコンサート等の交流を通し、UMECOの存在価値を示す。8月には一般市民との交流広めることを目的に市民活動団体の発表の場を設定し「夏祭り」を実施する予定。	いずれも新型コロナウイルスの影響で中止とした。（北条五代祭りは小田原市のメイン事業でしたが中止となった。8月の「夏だUMECOで生ビール」も飲食を伴うので中止した。）

⑥情報の集約・発信機能

No	事業名	目的	実施予定内容等（年度当初）	実施状況
22	メディア・ホームページ・情報発信	<p>情報発信の身近な手段としてホームページで多くの市民に市民活動情報を発信し、市民活動に興味をもってもらおう。小田原市の市民活動の推進・UMECOの利用促進を図る。</p> <p>FMおだわら、J：COMのラジオ及びケーブルテレビを通し、団体の活動を一般市民にPRし、更なる活動の推進につなげる。</p>	<p>小田原市の市民活動の推進及びUMECOの利用促進につながる様々な情報を収集して、ホームページで迅速・正確に発信する。（市民活動団体に必要な情報・助成金・活動の予告・団体からの情報その他必要と認める内容を掲載する。）</p> <p>FMおだわら（毎週日曜日の午前10時）10分～15分間、団体の活動紹介をする。</p> <p>J：COM（随時） 団体のイベント情報の紹介等を行う。 事業実施前後にフェイスブックを活用し情報を提供する。</p>	<p>FMおだわらについては、休館中も継続して配信できるよう手配した。スタジオに行かず電話で対応した。</p> <p>《再掲》 ホームページでは、団体紹介ページで動画を活用できるよう、ホームページ改修や「初歩からの動画作成講座」の開催を検討している。</p>
23	UMECOだより・つながるの発行	<p>「UMECOだより」は、一般市民や市内外の方にもUMECOの情報や取材したタイムリーな記事を提供するための情報紙である。市民や市民活動への興味を持って市民活動への担い手を増やす。</p> <p>「つながる」では、登録団体にUMECOの事業の情報や市民活動に関わる情報を提供しUMECOの利用促進と市民活動の活性化を図る。</p>	<p>市民が社会貢献活動に興味を持てるようイベントやボランティア募集の情報を掲載する。市民活動団体の情報だけでなく、市民が関心を示す社会的な記事・季節感ある記事等、情報紙として価値ある内容を載せる。</p> <p>◆偶数月隔月6回発行 登録団体に他団体の情報や、UMECOの活動を知らせるための記事を載せる。</p> <p>◆偶数月隔月6回発行 <u>今年度はイメージを改め事業報告より読んでいただけの予告事業の広報に力を入れ、新しい発想の中で保存したくなるような「UMECOだより」にしたいと考えている。</u></p>	<p>PRすべき事業が中止となっていたため、6月分は発行を中止した。6月15日の利用再開に際し、臨時号を発行した。8月号以降は予定どおり発行する。</p>